

連携室だより

2016.01 第44号
医療法人社団曙会
佐々木外科病院
地域医療連携室

申年2016



今年もどうぞよろしく願い申し上げます

先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2016年の干支は、「丙申」で何かを始めるといふよりも、これまでの頑張りが形になっていく年ようです。今やっていることが自分たちにとって何なのか見直すいい機会だと思います。また、気分を一新して、地域医療連携室の室訓も、昨年は「熱意は人を動かす」、「喜び喜ばれてこそ真のサービス」と謳っていましたが、今年は「朝は希望に起き、昼は努力に生き、夜は感謝に眠る」を掲げたいと思います。日々の仕事を一生懸命努力し、仕事ができることに感謝し眠り、翌朝、今日も一日頑張ろうと思える職場でありたいし、安らかな気持ちで過ごしたいと思っています。そのためには、高度急性期病院からは継続医療として、後方支援としての連携をスムーズに行ない、地域の施設・クリニックからは急性増悪時の受け入れなど、救急時の受け入れられがスムーズにでき、ストレスのない連携が持てれば、充実した日々が過ごせるのではないのでしょうか。日々精進していきたいと思っています。どうぞ、今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団曙会 佐々木外科病院 地域医療連携室長
後藤 嘉子

1月から山本健志医師が着任し、整形外科が常勤医師2名体制となりました。

山本健志（やまもとけんじ） 診療科目：整形外科

日本整形外科学会専門医・脊椎脊髄病医・リウマチ医・運動器リハビリ医

日本リウマチ学会専門医

日本リハビリテーション医学会認定回復期病棟専従医

